



# 磨かばや たま心の珠を



～学校と家庭・地域との連携を深めながら～

〒386-0503 上田市下武石 111 TEL85-2332 FAX85-2333 e-mail : yodakubo@yodakubo.ed.jp  
URL : www.yodakubo.ed.jp/ 文責 両澤宏樹

## 「和心で 中学生生活 花開く」～新入生歓迎お茶会～

「新入生歓迎お茶会」が初めて行われました。この会を発案したのは、3年 二村妃奈子さんです。どうして妃奈子さんはこのお茶会をやろうと決心したのか考えてみたとき、「1年生や和田中から来たみなさんは、新しい環境の中でとまどったり、不安に感じたりすること多いのではないか」「和田中から来たみなさんは学校が閉校してさみしい気持ちではないか」と心の内を想像してくれたのではないかと思います。

そして、その不安や寂しさを少しでも取り除き、楽しいひとときを過ごしてもらいたいという妃奈子さんの優しい心が作りだしたお茶会だったと思いました。また、その思いに共感し、3年生・2年生の有志のみなさんが企画・運営を支えてくれました。一人をみんなが支え、協力できること、南部中の生徒のみなさんのすばらしさだと感じました。優しさに包まれた、すてきな会になりました。和田中の伝統行事「観桜お茶会」は今、南部中に引き継がれ、和田中は確かに南部中で生きてると実感しました。また、和の心、おもてなしの心のベースにあるものは、相手の気持ちを想像すること、そして相手の喜びを自分の喜びと感じられる心であることを教えていただいたように思います。



二日間に渡って茶道をご指導くださいました金井春子さん、関万里子先生、当日お越しくくださいました中村幸枝さんをはじめ地域の皆様ありがとうございました。社会教育委員の原国夫さんが運んでくださった桜が、会場をひとときわ華やかにしてくれました。感謝です。

## 魔法のことば「ありがとう」～人権旬間の取組

### ～5月11日 校長先生講話～

みなさんは一日に何回「ありがとう」と言っていますか？ 「ありがとう」が少なかったのは、身のまわりのことが「あたりまえ」と思っていたから…「あたりまえ」と思っていたことも実は「あたりまえ」ではないことに気づけば、「あたりまえ」ひとつひとつが幸せに思えてきます。そうすると「ありがとう」をたくさん言わなければならないことに気づくはずです。そして、心のこもった「ありがとう」を25000回言うと、うれしく、楽しく、幸せな奇跡が起きはじめるらしいです。心が満たされていたら、差別やいじめは起きないですね。みんなが幸せな気持ちで生活できる「新生依田窪南部中」になるように「ありがとう」の輪を広げていきましょう。

## 信州型 CS「南中応援団」スタート

地域のみなさん、PTA 役員のみなさんにご協力いただき、コミュニティスクール「南中応援団」が発足しました。コミュニティスクールは、地域のみなさんが学校運営へ参画し、学校支援、学校評価を行っていくものです。

5月31日には運営委員会が行われ、4つの支援部（学習支援部、総合的な学習の時間・キャリア体験支援部、環境整備支援部、安全・体力向上支援部）毎、活動計画を立てました。

今後、ボランティアの募集をしていく予定です。「できる方が、できる時に、できる範囲で」で結構ですので、ぜひお気軽にご参加いただけると幸いです。



## 前例のないことに挑戦するということ ～3年 地域未来プロジェクト～

本年度の3年生は、今まで学んできた地域の特性やよさを改めて見つめ直し、地域のためにできる活動をしたり、地域を発展させるための企画、地域のよさを世界に発信するための手段や商品などを考えたりする総合的な学習の時間を展開しています。その導入として、信州せいしゅん村 むらおさ 小林一郎さんが「地域の課題を考える」というテーマでお話をしてくれました。



### 小林さんのお話から

1995年にモンゴルを訪問した。都市部から離れた地域では電気・ガス・水道もないのに、人々が支え合いながら生き生き暮らしていた。2000年、「信州せいしゅん村」を立ち上げた。土地・村の空洞化が進む中、山間地だからとあきらめるのは国土、ふるさとを否定すること。仲間と知恵をしぼり、来てもらうことで成り立つ農業（サービス提供型農村）を目指すことにした。周りからは「前例がないことだから」とよく言われたが、前例のないことでも独創的にやることで道は

拓けてくる。誰のために、何のためにやるのか、継続できるかを考えることが大事。思い通りいかないのが当たり前。何度も挑戦し続ける。

### <生徒の感想>

これからの日本の農業、農村を守るために様々な活動をしているということを知り、自分達が今もこうして自然の中で生きていけるのは、こうやって今でも信州の自然を守ろうとしている信州せいしゅん村の方々のおかげだと感じました。高い所に目標をおくというお話では、自分も共感できることがあって、高校の進路でも目標を高くすることで、目標に向かってすべきことがはっきり見えると思いました。

## 家庭学習の手引きご活用ください



中学校統合で3小学校のお子さんが全員南部中に進学するのを機に、家庭学習

に係わる小学校から中学校へのギャップ解消と、保護者の方の家庭学習への具体的な関わり方を含め、小中9年間を見通した南部支会版「家庭学習の手引」を学校とPTAが協力して作成し、4月にお配りしました。「なぜ家庭学習が重要なのか」「家庭学習のポイントと目安の時間」「生活習慣を含めた家庭学習の進め方」「家庭学習の内容例」「保護者のみなさんの関わり方の例」が学年別に書いてあります。ぜひご家庭に掲示していただき、お子さんと共にご活用をよろしくお願いいたします。「我家ではこんなふうを活用している」という実践例や「こんなこと困っている」といった悩みなどについて、PTA懇談会などで情報交換していけたらと思っています。

## お知らせ

○6月16日（金）は授業参観日です。今回は学年ごと親子と一緒に活動する時間、部活動見学もあります。大勢の保護者・地域の皆様のお越しをお待ちしています。詳しくはお配りしました学校からの通知をご覧ください。

○スクールカウンセラー（学校で子どもや保護者の悩みを聴き、問題点を解決したり、解決の方法を一緒に考えたりしてくれる方）加藤梨沙さんが定期的に来校します。

相談希望がありましたらお気軽に教頭（担任でもOK）までお知らせください。

来校日	6/6	7/11	9/19
	10/3	10/31	11/20
	11/27	12/5	1/9
	2/13	2/27	3/6

時間は13:30～16:30です。

スクールカウンセラーの飯田宏二さん、油井理恵子さんの来校日は決まっていますが、保護者の方のご希望の日時で調整しますので、お気軽にご相談ください。